

人文研紀要

第80号～第82号(2015年)

◆第80号—2015年(2015年10月発行 A5版324頁)

庭を通過して —トマス・ブラウン『壺葬論』と『サイラスの庭』への道—	秋山 嘉
編纂者ニコラス・ロウへの道 —フォリオ版からオクタボ版へ—	金子 雄司
現代日本語の漢字の意味分類	野田 時寛
ベアータ研究の新しい潮流	坂本 宏
優柔不断さを測定する尺度作成のための予備的研究	斎藤 聖子 緑川 晶
グローバル化に対応した公立小学校英語教育 —周防大島町教育委員会の取り組み—	村上 和賀子
海をへだてた南北戦争 —ヘンリー・アダムズの「外交教育」の背景—	岡本 正明
ユダヤ人をなぜ救ったのか —ユダヤ人を救った人々(8)—	平山 令二
William Wordsworth; Natural Sciences, and Humanity	Misako INOUE
Murdering the Myth of America's Cultural Fathers: Reading Denis Johnson's <i>Tree of Smoke</i> as an Updated Critique of America's Frontier Mythology	Hiroaki NAITO
A Delayed Effect in Aspectual Mismatches and Processing Cost of Aspectual Adverbs	Ryo OBA
Techno-Somatics of Cinema: The Machinic and the Psychic in Tanizaki's "Jinmenso"	Peter THORNTON
Robert Musil in Komotau und Steyr	Nanao HAYASAKA

◆第81号—2015年(2015年10月発行 A5版319頁)

海外研修旅行が大学生の訪問国・母国のイメージ及び文化交流に対する関心に与える影響	小川 将 永井 暁行 兵藤 宗吉
マレーシア研修旅行が大学生の国際理解及び訪問国のイメージに及ぼす影響	浅野 昭祐
沖縄漁船襲撃事件 —第三清徳丸事件に対する中華民国の対応と真相—	齋藤 道彦
シンガポール共和国のテレビ放送に関する言語法について(1) —華語および漢語方言の使用に関する規定を中心として—	小田 格
フェロー語バラッド <i>Ívint Herintsson</i> の3 ヴァージョンとノルウェー語バラッド <i>Kvikkjesprakk</i>)	林 邦彦
横浜市内出土縄紋土器付着物の炭素14年代測定研究	小林 謙一
死と「鏡」としての現象 —自然の存在学のために:セザンヌとメルロ＝ポンティ—	小嶋 洋介
ルソーは精神分析家か?	ブリュノ・ヴィアール 永見 文雄 訳
『エフライムのレヴィ人』における立法者	前之園 春奈
17-18世紀のフランスにおける一般意志概念の変遷について —ルソー政治哲学の理解のために—	落合 隆
アルフリッチ『聖人伝』の「呪術について」の説話における異教徒をめぐって	和田 忍
言語変化研究の多様な視点 —5W1Hによる整理—	堀田 隆一

◆第82号—2015年(2015年10月発行 A5版276頁)

ジョン・クレアとトマス・ハーディ	森松 健介
語ることを介した喪失との対峙 — <i>The Good Soldier</i> におけるダウアルの語る行為をめぐって—	板谷 洋一郎
『モロイ』に見る螺旋構造—繰り返される逃避の記憶—	鈴木 邦成
Ian McEwanの <i>Atonement</i> におけるタリス邸 —継承・楽園・贖罪の意味—	前 協子
『浮世の画家』における抹消された天皇	倉田 賢一
1800年の幻想ミステリ — イグナーツ・フェルディナント・アルノルトの二つの作品について—	亀井 伸治
神身離脱の様相と動機 —神祇信仰と仏教儀礼のせめぎあい—	尾留川 方孝
実録と档案の間 —明代万曆初期の事例から—	荷見 守義
明代護陵衛考 —とくに長陵衛・献陵衛とその軍事活動を中心に—	川越 泰博
北魏洛陽における金墉城の機能	角山 典幸
おまえの最も固有な狭さへと赴け(二) —ツェランの詩「エンゲフュールング」—	北 彰